

旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 第161号

令和2年4月1日発行

発行所:旭ろうさい病院

〒488-8585

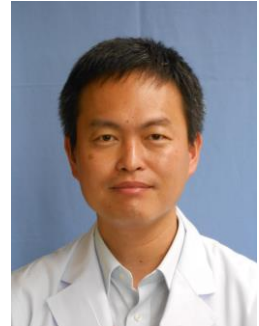
尾張市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

糖尿病フットケア

糖尿病内分泌内科部長 小川 浩平



登録医の先生方にはいつも大変お世話になっております。

糖尿病患者は「神経障害」と「血流障害」のために、足病変を発症しやすいことはよく知られています。いわゆる無頓着な患者は足壊疽を発症するまで気づきませんので、診察の際に靴下を脱がせて足を観察することが重要です。最終的な目標は患者自身がセルフフットケアをできるようにすることです。

糖尿病足病変を発症すると、日常生活が制限され、仕事も難しくなり、運動療法ができなくなり、最終的にひきこもりがちになります。こうなると内科的管理が不徹底になるどころか生活全体が大いに乱れます。

糖尿病足病変のハイリスク因子は①糖尿病が10年以上ある、②男性、③血糖コントロール不良、④糖尿病合併症がある（特に視力低下）、⑤末梢神経障害がある、⑥血流障害がある、⑦タコ・爪の異常・足の変形がある、⑧足潰瘍や切断が過去にある、⑨病気の知識がない、⑩社会的に孤立している が挙げられます。

直接的な原因は、①合っていない履物、②熱傷、③外傷、④爪の異常、⑤白癬菌感染、⑥皮膚の乾燥や亀裂 が挙げられます。

患者にはセルフフットケアの教育が重要です。①毎日の足の観察、②適切な靴をはく、毎日靴の中を点検、③入浴前の湯温のチェック、④低温やけどへの注意、⑤足病変（タコ、ウオノメ、水疱、傷）を発見したらただちに受診、⑥禁煙 の患者指導が推奨されます。

当院では糖尿病フットケアに力を入れております。お困りの症例がいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ幸いです。

糖尿病では、足が冷え、血流の悪い患者の 100%は白癬があるとも報告があり、難治性で重症化しやすいです。白癬肥厚爪は足壊疽の原因として最も多く、歩くことにも大変支障があり、患者の QOL を低下させる大きな問題であることが近年クローズアップされています。

旭ろうさい病院のフットケア外来は、そんな糖尿病患者の足のトラブルを予防し足病変を改善するために、トラブルの原因に焦点をあてたセルフケア指導を行いながらケアを行っています。特に、血流を改善するセルフフットケアを重視しております。

当院のフットケア外来の成果をまとめ、学会で発表しています。「大西みさ,小栗太一,阿部浩子,小川浩平(2018):白癬肥厚爪を改善するためのフットケア方法の開発—重炭酸足湯、グラインダー法、リフレクソロジーの開発、第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会、第 2 回医療スタッフ優秀演題賞、東京」。血流促進ケア(重炭酸足湯・ヒルドイドソフト®軟膏・リフレクソロジー)と爪白癬ケア(グラインダー法・クレナフィン®爪外用液)5つを同時に1年間毎月行い、50名の安全性・有効性を検証しています。さらに、現在は、多施設共同前向き観察研究として、診療所、介護施設等、地域に根差した方法で誰でも行える簡単で安価なフットケアとして、愛知県、岩手県、富山県等、全国に発信し実践しています。

当院のフットケア外来では、足の爪や血流を簡易的な方法で測定しセルフケアを評価しています。フットケアにより、爪白癬だけでなく、巻き爪、タコ、足の冷え、むくみ、外反母趾・内反小趾等の変形、膝の痛み等、様々な足のトラブルが同時によくなっていきますので患者の皆様には大変喜んで頂いています。

また、旭ろうさい病院のホームページでは、診療科・部門案内→糖尿病内分泌内科とクリックしていただくと、「セルフフットケア動画」があり、いつでも閲覧することができます。実際に重炭酸足湯や保湿クリームの塗布、簡単に行えるフットマッサージの方法を見ることができます。



先生方におかれましては、大変多忙な日常診療の日々ではありますが、診察時に患者の皆様の手を見ることが足のトラブルを予防する第1歩です。1人でも多くの皆様の足を救うことに、フットケア外来がお役立ちできれば幸いです。糖尿病の足のトラブルのご相談は、旭ろうさい病院フットケア外来火・水・木曜日、地域医療連携室にご連絡ください。

末梢循環障害著明で爪白癬が原因で足壊疽になり両5趾切断既往のある人



【初 回】



【6ヶ月後】



【1年6ヶ月後】



医師異動のお知らせ



新任医師

皮膚科部長	榎原 代幸 <small>さかきばら のりゆき</small>	平成2年3月	名古屋市立大学卒業
循環器科部長	玉井 希 <small>たまい のぞむ</small>	平成4年3月	名古屋市立大学卒業
呼吸器内科医師	鈴木 悠斗 <small>すずき ゆうと</small>	平成25年3月	近畿大学卒業
糖尿病内科医師	中林 廉太 <small>なかばやし れんた</small>	平成28年3月	名古屋市立大学卒業
整形外科医師	永井 修平 <small>ながい しゅうへい</small>	平成28年3月	愛知医科大学病院卒業
専攻医	熊西 亮介 <small>くまにし りょうすけ</small>	平成28年3月	宮崎大学卒業
専攻医	磯谷 俊太郎 <small>いそがい しゅんたろう</small>	平成29年3月	名古屋市立大学卒業
専攻医	橋本 康平 <small>はしもと こうへい</small>	平成29年3月	愛知医科大学病院卒業
専攻医	宮武 仁志 <small>みやたけひと し</small>	平成29年3月	名古屋市立大学卒業
専攻医	樹下 華苗 <small>きのした かなえ</small>	平成30年3月	名古屋市立大学卒業
初期研修医	清水 徹 <small>しみず とおる</small>	平成28年3月	獨協医科大学卒業
初期研修医	川又 健志 <small>かわまた たけし</small>	平成29年3月	富山大学卒業
初期研修医	平野 千太郎 <small>ひらの せんたろう</small>	平成30年3月	岩手医科大学卒業
初期研修医	羽柴 文貴 <small>はしば ふみたか</small>	令和2年3月	名古屋市立大学卒業
初期研修医	吉田 純 <small>よしだ じゅん</small>	令和2年3月	名古屋市立大学卒業

退任医師

婦人科部長	宮田 敬三
皮膚科部長	森 誉子
整形外科部長	稲森 晋平
呼吸器内科医師	堀内 実
呼吸器内科医師	加藤 千博
専攻医	永井 修平
専攻医	大石 悠香子
専攻医	下谷 直輝
研修医	矢田 真宏
研修医	山田 耕太郎
研修医	山村 鈴奈
研修医	藤吉 一馬